

《優良乳牛導入と耕畜連携による酪農再生プロジェクト》

市町村	鶴岡市、庄内町、三川町	対象地域	鶴岡市、庄内町、三川町	分野	畜産
実施主体名	庄内たがわ農協酪農部会	代表者氏名	会長 富樫 善雄	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	鶴岡市上藤島字備中下3-1 電話 0235-64-3000
実施主体構成	酪農家 12名				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	122,200千円（20,680千円）				
	独自の目標項目	高泌乳牛の導入とその後継牛の育成を進めながら生乳生産量及び品質の向上による産出額の増加を目指す。併せて、生産コスト削減のため乳用牛肥育農家や耕種農家と連携し、これまで以上に自給飼料の利用拡大にも取り組みながら、酪農経営の安定化を図っていく。				
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）
	産出額	生乳販売額 101,520千円	102,366千円	112,800千円	122,200千円	122,200千円
	独自の目標 項目	生乳産出量 1,080t 自給飼料面積 4.4ha(WCS) 0.0ha(SGS)	1,089 t 5.0ha 18.0ha	1,200 t 8.0ha 21.0ha	1,300 t 8.0ha 24.0ha	1,300 t 10.0ha 27.0ha
プロジェクト概要	◎実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・初妊牛導入による生乳生産額の増加と自給飼料の活用により生産コストの削減。 ・肥育農家との連携による庄内産畜産物（牛乳、牛肉）のイメージアップ。 ・他産業と連携した庄内産牛乳の新たな消費の拡大。（消費者との交流や加工品開発、創作料理への利活用） 				
	○産出額の増大	生乳 20,680千円				
	○雇用の創出	牛に給与する予定である自給粗飼料の製造過程において臨時的雇用が見込まれる。（2～3週間位で述べ50人、98人・日） 将来の地域酪農をリードする後継者を1名育成する。（跡継ぎや新規参入者等の貴重な人材を組織全体で育てていく。）				
	○創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・自給飼料拡大による生産コストの削減と牛群改良による産出額増加という両輪の組み合わせにより、酪農経営の基盤強化を早急に進めていく。 ・良いエサ作りと良い土作りのため、耕種農家との連携した資源循環サイクルシステムを構築する。 ・他産業（飲食業や菓子業など）と連携しながら、飲用のみならず加工利用での消費ルートを開発する。 ・乳用牛肥育農家とは素牛の供給と自給飼料利用で連携することにしており、地元産にこだわった取り組みを通じて庄内産畜産物全体のブランド力向上をねらっていく。 				
	○実現性	国の農業政策の転換を期に、水田を活用した飼料用米生産の機運が高まっている中で、牛群更新と合わせて取り組むことは酪農家にとってもメリットが大きく実現性に期待が持てる。				
	○地域への波及効果 ○その他	耕畜連携、他産業連携、畜種間の連携により酪農のみならず他の畜種への波及効果が期待される。				

		実施年度（平成22年度）	実施年度（平成23年度）
事業内容		初妊牛導入、判別精液購入、酪農機器購入、堆肥運搬機器等購入	初妊牛導入、判別精液購入

